

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question .....

競技規則37条(タイム)について質問させていただきます。

同項には「同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで2回以内」と記載されていますが、この認識は【1人1試合中5分×2回のタイムが許される】でよろしいでしょうか？

本日実例として、同一試合で3回目のタイムが必要な事態となったとき、ペアの片方がタイムを取得し、同一試合で3回目のタイムながら、同一人としては3回目ではないとの主張が通りました(明らかに同一人の3回目タイムなのにルールを逆手にとってペアのもう一人が仮病を使った形です)。自分もルールには詳しいつもりですが、当該事例ははじめての経験です。公式な見解がいただけると今後同じような事例の再発防止になるものと信じます。

ご回答のほどよろしくお願いいたします。

## Answer .....

マッチ中、次の場合はタイムをとることができる。

- ①プレーヤーに突発的な身体上の故障が生じ、プレーの継続ができなくなり、これを正審が認めた場合。ただし、同一人が1回につき5分以内とし、かつ同一マッチで2回以内とする。
- ②その他正審が特に認めた場合。

正審がタイムを認めた場合は、ご質問のような理解で結構です。また、身体上の問題でタイムを同一人が同一マッチで2回とって、その後身体上の故障でプレーの継続ができなくなった場合は、競技規則第39条第1項第3号が適用されて、タイムアップゲームセットとなります。

ご質問ではそれがわかっているので、そのようなときに、瞬時にパートナーが(仮病を使って)タイムを要求し、正審はタイムを認めたので、実質は同一人が3回タイムをとったことになったと言うことですね。

まずタイムが成立するのは、常に正審が必要と認めた場合であるということを充分認識して欲しいですね。ややもすると、プレーヤーまたは監督が、要求すれば成立するというように考える傾向がありますが、これは誤りです。

身体上の故障は、その本人でなければ真実はわからないので、要求されれば認めることになるのが実際です。ですから今回のように、そのパートナーから身体上の故障でプレーを継続できないとタイムの要求があり、正審がこれを認めたことは特に問題はありません。しかし、貴殿が主張されるようなことや、作戦のために使われたりすることもないわけではありませんが、これはプレーヤーのスポーツマンシップやフェアプレーを信頼するほかはないでしょう。ちなみに、1回目のタイムで5分が経過してもマッチが再開できない場合に、連続して2回目のタイムを要求された場合は、これを認めた決定をしたときから5分間ではなく、最初に認めた時点から連続して計測されますこともご理解ください。

ルールに精通すると同時に、プレーヤーは互いにマナーを尊重して、フェアプレーでソフトテニスを楽しみましょう。

**【関連規則】**

競技規則第 37 条 タイム

競技規則第 39 条 (棄権) (3)

審判規則第 24 条 (採点票の記入) (7)



ジュニア 審判マニュアル

競技規則について

13. タイム

16. 棄権になるときはどんなときか? (3)

審判規則について

11. 採点票への記入の仕方 (7)

あれ???  
さっきプレーヤーA  
が腹痛で2回タイム  
を消化したところだ  
ぞ……。  
今度プレーヤーBが  
足が痛い?  
んんん???…

